



2026年4月7日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 へ り オ ス
代 表 者 名 代 表 執 行 役 社 長 C E O 鍵 本 忠 尚
(コード番号：4593 東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 C F O リ チャ ード ・ キ ン ケ イ ド
(T E L : 0 3 - 4 5 9 0 - 8 0 0 9)

JENECELL 社との培養上清供給契約締結に関するお知らせ

当社と株式会社JENECELL（本社：397 Seochodaero #A-1907, Seocho-gu, Seoul, 06616, South Korea (<https://www.jenecell.com>)、以下、「JENECELL社」と言います。)は、JENECELL社が今後韓国及びワールドワイドに提供する化粧品の原材料となる培養上清（以下、「製品」と言います。）を、当社からJENECELL社へ供給する契約（以下、「本契約」と言います。）を締結しましたのでお知らせします。

1. 本契約の概要

当社は、再生医療分野における革新的な治療法及び製品の開発と提供を目指して事業を展開しており、その一環として、体性幹細胞培養上清液を基盤とした製品の研究開発および製造販売を推進しております。

本契約において、以下対象製品について初回発注分として1億4,400万円相当の製品を受注いたしました。2026年7月以降、当社からJENECELL社へ順次製品を出荷します。また、本契約では今後の継続的な受注につきまして、製品の出荷量・出荷時期等をJENECELL社と合意しています。

対象製品：ヒト（同種）骨髄由来体性幹細胞培養上清（HLSI071）

2. 相手先の概要

次ページ表を参照

3. 本契約に関する日程

決議日：2026年4月7日

締結日：2026年4月7日

4. 今後の見通し

本契約によりJENECELL社より受領する売上代金は、2026年12月期第3四半期以降の入金を予定しており、JENECELL社への納品の都度、売上に計上いたします。初回発注分につきましては、売上が確定しましたら公表予定です。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

【JENECELL 社概要】

(1) 名 称	株式会社 JENECELL
(2) 所 在 地	397 Seochodaero-ro #A-1907, Seocho-gu, Seoul, 06616, South Korea
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 ジュ・ヒソク
(4) 事 業 内 容	医薬品、化粧品、化粧品原料、医療機器等の製造および卸売・小売業等
(5) 資 本 金	3,000,000,000 won (2026年3月末現在)
(6) 設 立 年 月	2025年9月
(7) 発 行 済 株 式 数	300,000 株
(8) 決 算 期	2026年3月期
(9) 従 業 員 数	7名 (2026年3月末現在)
(10) 大株主及び持株比率	アルフレッサ株式会社 100%
(11) 当事会社間の関係	
資 本 関 係	該当事項はありません。
人 的 関 係	該当事項はありません。
取 引 関 係	該当事項はありません。
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。

注：JENECELL社は、現在2026年3月末基準の財務諸表を作成中です。本件発表時点での財務諸表は未確定です。また、会社設立後1年を経っていないため、過去における経営成績及び財政状態の実績も未記載となります。

■株式会社 JENECELL について

JENECELL社は、医療用医薬品卸売上高国内No.1の企業グループであるアルフレッサホールディングス株式会社の子会社であるアルフレッサ株式会社の韓国子会社であり、幹細胞を基盤とした医薬品、医療機器、化粧品など多様な分野において、先端技術を活用した革新的な製品を開発しています。特に、幹細胞培養上清液（Stem Cell Conditioned Media, MSC-CM）を基盤としたプレミアム・コスメティック事業を通じて高機能スキンケア製品の開発を推進しており、韓国の有望なバイオおよびヘルスケア企業との戦略的協力を基盤に、イン&アウト（In & Out）ビジネスおよびM&Aを積極的に推進するなど、オープンイノベーション戦略を展開しています。

<https://www.jenecell.com>

■株式会社ヘリオスについて

再生医療は、世界中の難治性疾患の患者さんにとって新たな治療法として期待されています。この分野では、製品開発・実用化への取り組みが広がり、将来的には大きな市場となることが見込まれています。ヘリオスは、iPS細胞（人工多能性幹細胞）などを用いた再生医薬品開発のフロントランナーとして、実用化の可能性のあるパイプラインを複数保有するバイオテクノロジー企業です。2011年に設立、2015年に株式上場（東証グロス: 4593）し、再生医薬品の実用化を目指して研究開発を進めています。体性幹細胞再生医薬品分野では、健康な成人ドナー骨髄由来の体性幹細胞から成る独自の細胞製品であるHLICM051を使用した急性呼吸窮迫症候群（ARDS）や脳梗塞急性期及び外傷の治験を実

施しています。HLCM051 は、強力な抗炎症作用と免疫調節作用を示すことが示されており、様々な病態への応用が可能です。後期臨床試験において数百人の患者さんで試験され、3D 培養法で一貫して製造されており、複数の適応症において数百人の患者さんで安全性と有効性の両方が実証されています。ヘリオスは、脳梗塞急性期、ARDS、外傷に対し、HLCM051 をグローバルに推進してまいります。iPSC 再生医薬品分野では、免疫拒絶のリスクを低減する次世代 iPSC 細胞であるユニバーサルドナーセル (UDC: Universal Donor Cell) を作製し、さらには、遺伝子編集技術により固形がんに対する殺傷能力を強化した次世代 NK 細胞 (eNK[®]細胞) の開発を、当社の開発パートナーである株式会社 Akatsuki Therapeutics の主導で進めています。eNK[®]細胞は、動物モデルにおいて強固な抗腫瘍効果を実証しており、大量生産が可能な 3D バイオリアクターでの製造プロセスを実現しています。これらにより、がん免疫領域をはじめ、眼科領域、肝臓領域などで新規治療薬の開発に取り組んでいます。

<https://www.healios.co.jp>